

# 「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム in 奈義町 全国子育て応援会議～子ども・笑顔・未来～が開催されました。



令和5年11月10日(金)、岡山県奈義町の奈義町文化センターで、「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム in 奈義町が開催されました。奈義町は約20年の子育て支援を経て2019年度には合計特殊出生率2.95を記録、令和5年2月には岸田総理が訪れるなど「子育て応援の町」として注目を集めています。全国の自治体と、国、県、子育て応援に関する有識者や企業が一同に集った本会は、町長による開会式挨拶を皮切りに、こども家庭庁による基調講演、子育てのこれからについて議論を行う分科会、大阪大学による生誕1000日見守り研究の発表、奈義町の子育て応援施策の説明、なぎチャイルドホームや奈義しごとえんの視察等が行われました。



奥正親町長による開会の挨拶



こども家庭庁審議官による基調講演



「なぎチャイルドホーム」の視察



「奈義しごとえん」の視察

## ■基調講演 こども政策の展望と課題 ～「こども未来戦略方針」を中心に～

基調講演の冒頭、こども政策担当大臣がビデオメッセージにて「こどもまんなか応援サポーターの取り組みや企業・個人・地方自治体などの取り組みの輪を広げていき、子育てに優しい社会づくりに参加していく機運が高まることを期待し、是非一緒にこどもまんなか社会を作っていきましょう」と挨拶。続くこども家庭庁審議官による講演では、こども家庭庁の役割や基本姿勢について説明したほか、ライフステージを通じた経済的支援の強化や全てのこども・子育て世帯を対象とした支援の拡充の内容について紹介しました。子育てに優しい社会づくりのため、国民の皆様をはじめ、自治体・企業・団体の皆様と一緒に推進していきたいと語りました。

## ■分科会 ①子育てに安心を ②子育てに社会応援を ③こどもまんなか社会に



これからの子育て応援に関する意見交換の場として、3つのテーマにて分科会が開催されました。こども家庭庁企画官が参加した第三分科会では、「こどもまんなか社会に」をテーマに自治体職員や奈義町住民を交え「こどもまんなか社会」を誰がどのように作るか、それぞれの経験を交えて活発に意見が交わされました。分科会終了後、各分科会のモデレーター

が総括を発表。「地域や企業、行政の垣根を超え、一人一人がこどもや子育てについてできることを自分事として考え行動に移す。そういった広がりがあれば、こども・子育てに優しい環境・社会が形成されていくということを確認できた。」「『こどもまんなか社会』が当たり前になるようにしていきたいという想いを共有した。」と述べた。こども家庭庁企画官も「様々な立場の人がいる中で、同じ方向で議論や意見交換ができたのは、こどもに対して共通の想いがあるから。一人一人ができることを考え、国の取組も皆さんに広く届けられるようにしたい。」と語りました。

【概要】名称:「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム in 奈義町 全国子育て応援会議～子ども・笑顔・未来～ / 場所:岡山県奈義町文化センター / 日程:令和5年11月10日(金) / 内容:《基調講演》こども家庭庁審議官「こども政策の課題と展望」 大阪大学「生誕1000日見守り研究」説明 奈義町の「子育て応援施策」説明 なぎチャイルドホーム視察 奈義しごとえん視察 第一分科会「子育てに安心を」 第二分科会「子育てに社会応援を」 第三分科会「こどもまんなか社会に」 / 主催:奈義町/ 協力:こども家庭庁、岡山県、大阪大学ライフデザイン・イノベーション拠点本部、富山県朝日町、北海道ニセコ町、鳥取県日吉津村、鳥取県湯梨浜町/後援:(株)山陽新聞社、(株)中国銀行、(株)津山朝日新聞社、岡山大学、(社)奈義しごとえん、(社)那岐の茶の間、(社)ビジット奈義、(社)なぎポスト/協賛:岡山県商工会連合会、晴れの国岡山農業協同組合奈義支店、(株)三社電機製作所、(株)西松屋チェーン、萩原工業(株)、(株)ブリッジウェル